

株主の皆さまへ

第168期中間事業概況

2018年4月1日から2018年9月30日まで



北陸瓦斯株式会社

平素は格別のご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社では第168期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の第2四半期決算をとりまとめましたので、その概況をご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による各種経済政策の効果もあり、企業収益や雇用・所得環境の改善が進むなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、海外経済の不安定要因の存在などもあり、依然先行きは不透明な状況にあります。

エネルギー業界におきましては、電力・ガス小売り全面自由化による、エネルギー間の相互参入や異業種からの新規参入に加え、エネルギー事業者間の提携が進むなど、大きな変革期を迎えております。また、現在当社供給区域への新規参入の動きはないものの、当社を取り巻く環境も大きく変化しつつあります。

こうした情勢下にありますと、当社は総力をあげて都市ガスの普及拡大、事業基盤の強化および保安の確保に取り組んでまいりました。

部門別業績ならびに収支の状況につきましては、3頁以降に記載のとおりであります。中間配当につきましては、当期におきましてもその実施を見送らせていただくことといたしました。なにとぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

次に会社が対処すべき課題について申し上げます。

電力・ガスの小売り全面自由化の実施により、今後もこれまで以上にエネルギー事業者間の競争が激しくなると想定され、当社を取り巻く事業環境も大きな変革期を迎えております。

そのような状況のなか、当社は自由化への対応を適切に進めながら、お客さまから選択され続ける企業となるため、生産・供給体制を強化し、都市ガスを中心としたエネルギーを安定的に供給するとともに、お客さまの多様なニーズに対応した高品質なサービスを提供し、より地域に密着した事業活動を展開してまいります。

そのため、「顔の見える営業」として、従来から進めております「フェイス・トゥ・フェイス

訪問」をより一層推進し、環境負荷低減につながる都市ガスのメリットをお客さまにPRしてまいります。

さらに、現在展開しております家庭用ガス普及戦略の目標達成に向け全社をあげて取り組んでまいります。具体的には、家庭用燃料電池「エネファーム」と「ガス温水暖房システム」の提案強化による普及拡大に加え、「リフォーム事業」にも積極的に取り組み、家庭用ガス需要の獲得と省エネ機器の拡販につながるよう引き続き努めてまいります。

保安強化の面では、お客さまから安心してガスをご使用いただくため、すべてのバーナーに安全センサーが搭載された「Siセンサーコンロ」など安全型ガス機器の普及促進を図るとともに、白ガス管などの経年ガス管取替を継続的かつ積極的に推進してまいります。災害対策としては、ポリエチレン管の敷設をはじめとする供給設備の耐震化、および遠隔操作システムの機能強化など緊急対策を実施してまいります。

加えて、当社が持続的な成長を遂げるための中長期的な課題につきましても引き続き取り組むとともに、コーポレートガバナンス・コードの趣旨を踏まえ、各種改革を実行し、継続的に企業価値を高めていくこと並びに経営の健全性を維持向上させるためコンプライアンスの徹底を図ってまいります。

また、当社は2018年4月1日に柏崎市が運営するガス事業を譲受けて事業を開始しており、今後もより一層のお客さまサービスの向上と保安の確保に努めてまいります。

株主の皆さまには、なにとぞ当社の現状をご賢察くださいます。今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月

取締役社長

敦 井 一 友



業績の概況

<ガス販売>

当第2四半期末のお客さま件数は、前年同期末に比べ8.8%増の405,031件となりました。

ガス販売量は前年同期比14.1%増の155,126千 m^3 となりました。用途別では、家庭用ガス販売量は、柏崎市のガス事業を譲受けたものの、春先や夏場の気温が前年と比べ高めに推移した影響により給湯・暖房用需要が減少したことなどから、前年同期比0.9%減の55,426千 m^3 となりました。業務用（商業用、工業用、その他用）ガス販売量は、新規大口需要家の稼働や柏崎市のガス事業を譲受けたことなどから、前年同期比24.6%増の99,700千 m^3 となりました。

ガス売上高につきましては、ガス販売量が増加したことや、原料費調整に伴いガス料金単価が引き上げとなったことなどから、前年同期比13.6%増の148億99百万円となりました。

<ガス工事>

受注工事収益につきましては、木造集合住宅の新築工事が減少したことから、前年同期比0.6%減の5億67百万円となりました。

<その他>

その他の営業収益につきましては、エネファームや住設機器をはじめとした戸建住宅向けのガス機器販売が好調であったことなどから、前年同期比5.8%増の13億82百万円となりました。

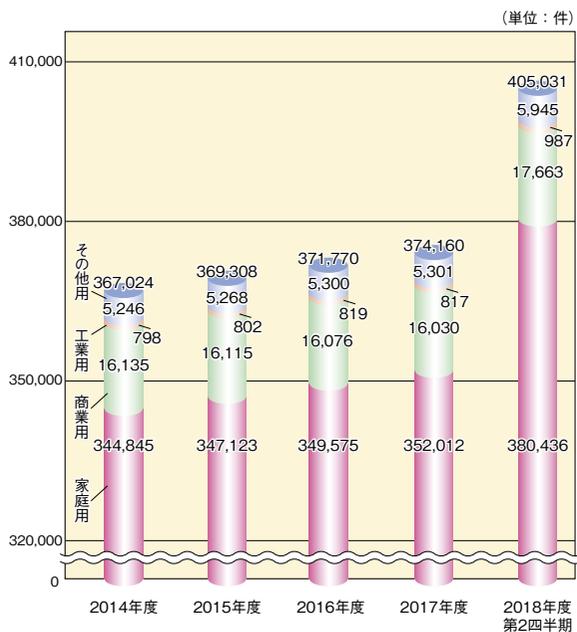
<総売上高および収支の状況>

当第2四半期累計期間の総売上高は、前年同期比12.3%増の168億94百万円となりました。

費用面につきましては、経営全般にわたり経費の削減に努めましたものの、ガス販売量の増加やLNG価格の上昇による原料費の増加および柏崎市のガス事業の譲受けに伴う減価償却費等の増加から、前年同期比17.3%増の171億88百万円となりました。

この結果、当第2四半期累計期間におきましては、営業外収益および営業外費用を加え、経常損失1億69百万円、第2四半期純損失1億30百万円となりました。

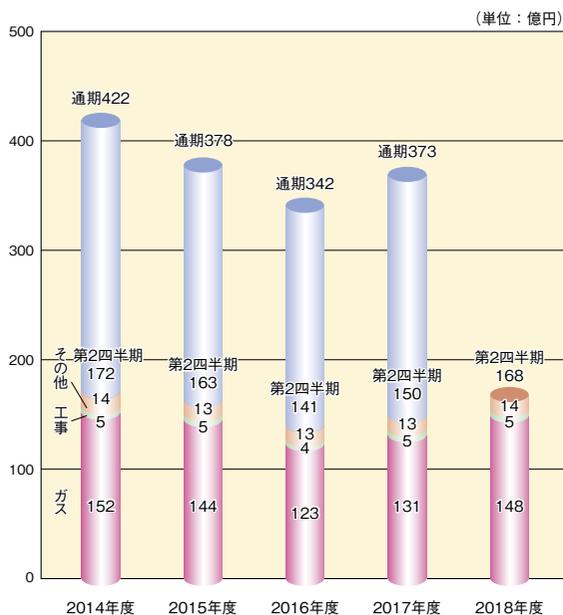
■お客さま件数



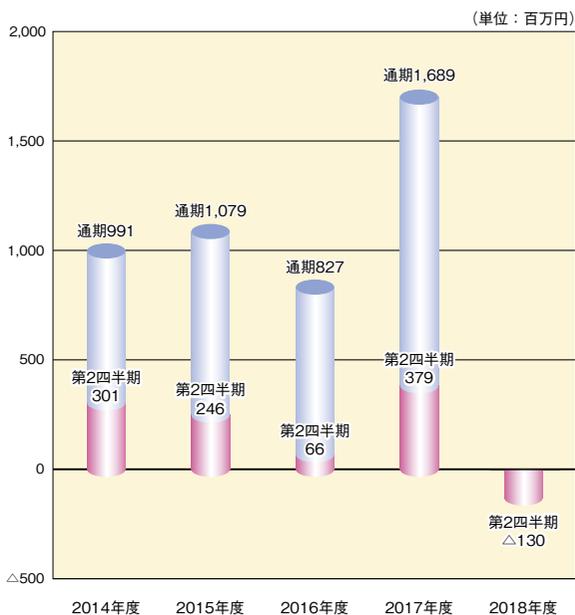
■ガス販売量



■総売上高



■当期純利益



(注) 2017年5月2日付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、2016年度において過年度の決算訂正を行っております。上記各数値は決算訂正後の数値であります。

計算書類

貸借対照表

資産の部	当第2四半期末 (2018.9.30)	前期末 (2018.3.31)
固 定 資 産	43,885	38,968
有 形 固 定 資 産	37,987	33,856
製 造 設 備	4,492	4,599
供 給 設 備	31,875	27,764
業 務 設 備	1,354	1,301
附 帯 事 業 設 備	5	5
建 設 仮 勘 定	259	185
無 形 固 定 資 産	2,837	2,004
借 地 権	1	1
鉱 業 権	0	0
の れ ん	2,046	1,076
その他無形固定資産	789	926
投 資 そ の 他 の 資 産	3,060	3,107
投 資 有 価 証 券	2,447	2,416
関 係 会 社 投 資	312	310
出 資 金	0	0
長 期 前 払 費 用	183	190
前 払 年 金 費 用	70	143
そ の 他 投 資	62	62
貸 倒 引 当 金	△ 15	△ 15
流 動 資 産	4,311	7,262
現 金 及 び 預 金	868	3,407
受 取 手 形	151	306
売 掛 金	2,041	2,933
関 係 会 社 売 掛 金	26	6
未 収 入 金	524	136
製 品	59	55
原 料	17	15
貯 蔵 品	379	292
前 払 費 用	92	-
関 係 会 社 短 期 債 権	57	42
そ の 他 流 動 資 産	95	70
貸 倒 引 当 金	△ 4	△ 6
資 産 合 計	48,197	46,231

(単位：百万円)

負債の部	当第2四半期末 (2018.9.30)	前期末 (2018.3.31)
固 定 負 債	2,972	1,945
長 期 借 入 金	1,249	210
繰 延 税 金 負 債	99	138
ガスホルダー修繕引当金	933	890
器 具 保 証 引 当 金	286	300
そ の 他 固 定 負 債	404	406
流 動 負 債	7,947	6,517
1年以内に期限到来の固定負債	1,253	530
買 掛 金	1,488	1,891
短 期 借 入 金	1,900	-
未 払 金	465	996
未 払 費 用	1,168	1,293
未 払 法 人 税 等	84	543
前 受 金	849	466
預 り 金	66	57
関 係 会 社 短 期 債 務	670	738
負 債 合 計	10,920	8,462
純資産の部	当第2四半期末 (2018.9.30)	前期末 (2018.3.31)
株 主 資 本	36,021	36,535
資 本 金	2,400	2,400
資 本 金	2,400	2,400
資 本 剰 余 金	21	21
資 本 準 備 金	21	21
利 益 剰 余 金	33,618	34,132
利 益 準 備 金	600	600
そ の 他 利 益 剰 余 金	33,018	33,532
固 定 資 産 圧 縮 積 立 金	86	89
別 途 積 立 金	26,100	26,100
繰 越 利 益 剰 余 金	6,832	7,343
自 己 株 式	△ 18	△ 17
自 己 株 式	△ 18	△ 17
評 価 ・ 換 算 差 額 等	1,255	1,232
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	1,255	1,232
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	1,255	1,232
純 資 産 合 計	37,276	37,768
負 債 純 資 産 合 計	48,197	46,231

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

費用	当第2四半期累計期間 (2018.4~2018.9)	前第2四半期累計期間 (2017.4~2017.9)
売上原価	7,098	5,674
期首たな卸高	55	63
当期製品製造原価	3,857	3,605
当期製品仕入高	3,271	2,075
当期製品自家使用高	26	25
期末たな卸高	59	43
(売上総利益)	(7,801)	(7,442)
供給販売費	7,181	6,167
一般管理費	907	919
(事業利益又は事業損失(△))	(△ 287)	(355)
営業雑費用	1,996	1,882
受注工事費用	583	565
その他営業雑費用	1,412	1,316
附帯事業費用	4	3
(営業利益又は営業損失(△))	(△ 293)	(391)
営業外費用	7	10
支払利息	6	9
雑支出	0	1
経常利益又は経常損失(△)	△ 169	532
税引前四半期純利益又は 税引前四半期純損失(△)	△ 169	532
法人税等	△ 38	152
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	△ 130	379
合計	17,026	15,190

(単位：百万円)

収益	当第2四半期累計期間 (2018.4~2018.9)	前第2四半期累計期間 (2017.4~2017.9)
ガス事業売上高	14,899	13,116
ガス売上	14,899	13,116
営業雑収益	1,949	1,877
受注工事収益	567	570
その他営業雑収益	1,382	1,307
附帯事業収益	44	44
営業外収益	131	150
受取利息	0	0
受取配当金	48	45
導管修理補償料	18	13
受取賃貸料	47	45
雑収入	18	46
合計	17,026	15,190

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結計算書類

連結貸借対照表

資産の部	当第2四半期末 (2018.9.30)	前期末 (2018.3.31)
固 定 資 産	50,891	45,597
有 形 固 定 資 産	41,882	37,627
製 造 設 備	4,491	4,599
供 給 設 備	34,434	30,364
業 務 設 備	1,581	1,516
そ の 他 の 設 備	925	953
建 設 仮 勘 定	449	191
無 形 固 定 資 産	2,891	2,055
の れ ん	2,046	1,076
そ 他 無 形 固 定 資 産	845	978
投 資 そ の 他 の 資 産	6,117	5,915
投 資 有 価 証 券	2,940	2,994
繰 延 税 金 資 産	511	494
そ の 他 投 資	2,681	2,441
貸 倒 引 当 金	△ 15	△ 15
流 動 資 産	8,800	12,404
現 金 及 び 預 金	3,977	7,245
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	3,071	4,292
有 価 証 券	310	201
そ の 他 流 動 資 産	1,445	673
貸 倒 引 当 金	△ 5	△ 7
資 産 合 計	59,692	58,002

(単位：百万円)

負債の部	当第2四半期末 (2018.9.30)	前期末 (2018.3.31)
固 定 負 債	3,899	2,839
長 期 借 入 金	1,273	234
役員退職慰労引当金	134	157
ガスホルダー修繕引当金	1,090	1,020
器具保証引当金	287	296
退職給付に係る負債	597	613
そ の 他 固 定 負 債	516	518
流 動 負 債	8,759	7,797
1年以内に期限到来の固定負債	1,260	536
支払手形及び買掛金	2,001	2,532
短 期 借 入 金	1,900	-
未 払 法 人 税 等	153	741
そ の 他 流 動 負 債	3,443	3,988
負 債 合 計	12,658	10,637
純資産の部	当第2四半期末 (2018.9.30)	前期末 (2018.3.31)
株 主 資 本	43,171	43,615
資 本 金	2,400	2,400
資 本 剰 余 金	21	21
利 益 剰 余 金	40,768	41,212
自 己 株 式	△ 18	△ 17
そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額	859	764
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	1,274	1,244
退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額	△ 415	△ 480
非 支 配 株 主 持 分	3,003	2,985
純 資 産 合 計	47,034	47,365
負 債 純 資 産 合 計	59,692	58,002

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■連結損益計算書

費用	(単位：百万円)	
	当第2四半期累計期間 (2018.4~2018.9)	前第2四半期累計期間 (2017.4~2017.9)
売上原価	10,880	9,587
(売上総利益)	(9,182)	(8,952)
供給販売費及び一般管理費	9,304	8,271
供給販売費	8,113	7,082
一般管理費	1,191	1,189
(営業利益又は営業損失(△))	(△ 121)	(680)
営業外費用	7	12
支払利息	6	9
その他	1	3
経常利益又は経常損失(△)	△ 9	810
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△ 9	810
法人税等	17	248
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 26	561
非支配株主に帰属する四半期純利益	34	70
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 60	490
合計	20,184	18,681

収益	(単位：百万円)	
	当第2四半期累計期間 (2018.4~2018.9)	前第2四半期累計期間 (2017.4~2017.9)
売上高	20,063	18,539
営業外収益	120	142
受取利息	2	3
受取配当金	39	32
受取賃貸料	39	39
その他	40	67
合計	20,184	18,681

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■連結子会社（5社）

北陸天然瓦斯興業(株)、北陸ガスエンジニアリング(株)、
北陸ガスリビングサービス(株)、蒲原瓦斯(株)、北栄建設(株)

■大阪北部地震に対する復旧応援隊を派遣

2018年6月18日、大阪府北部を震源とする地震が発生し、大阪ガス株式会社管内の茨木市、高槻市、摂津市、吹田市で最大約11万件が供給停止となりました。

当社は、日本ガス協会の要請を受け、同6月19日から25日までの期間、復旧作業を支援するため本管修繕隊13名、内管修繕隊10名、開栓隊20名の計43名（協力会社を含む）を現地へ派遣しました。



各出発の様子



屋外テントにてミーティング。漏えい検査のエリア確認



漏えい検査の様子



大阪ガス高槻事務所に内管修繕隊解散式に参加



帰社後に各支社にて報告会を開催

■長岡火力発電所 本格稼働

長岡市西部丘陵東地区で株式会社長岡火力発電所が建設をすすめていた長岡火力発電所が竣工し、このたび8月21日に営業運転開始となりました。

この発電所は、国産の天然ガスを原料とするガスエンジン発電所としては国内初となるものです。世界最高の発電効率49.5%を誇る川崎重工製7,800kWのガスエンジンが11台採用されており、発電出力は82,000kW。発電した電力は全量が株式会社F-Powerに売電されます。

当社は、発電所向けに国際石油開発帝石株式会社の関原プラントから新たに導管を1,600m敷設し、高圧4.9MPaのガスを供給いたします。今のところベース運転での発電を計画されており、年間8,000万m³ (41.8605MJ) のガス使用見込みとなっております。



長岡火力発電所

■2018ガス展開催

「おトクに、楽しく、大発見!」をテーマに、10月5日(金)の豊栄会場を皮切りに、三条・加茂、新潟、長岡と続き、今年から開催の柏崎会場をフィナーレとして2018ガス展を開催いたしました。

人気のキャラクターショーや著名人による料理イベントに加え、「はたらくクルマ」の展示やお仕事体験など、お客さま参加型のイベントを多数用意しました。

親子火おこし体験や最新のSiセンサーコンロを使ってクレープやホットケーキ作りを体験できるコーナーも多くの人で賑わいました。

また、エネファームをはじめとした環境・家計にやさしい最新ガス機器とともに、リフォーム需要を意識した住宅設備機器の展示に多くのお客さまの注目が集まりました。



- 1 お仕事体験
- 2 親子火おこし体験
- 3 今年から開催の柏崎ガス展会場

家庭用燃料電池

エネファーム

ガ、スマート!

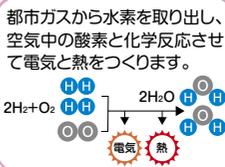
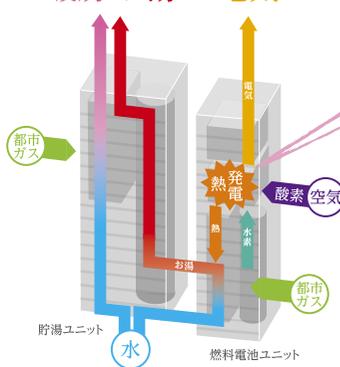
ガスで電気をつくり、
発電時の熱で
お湯もつくります



ENE-FARM



暖房 お湯 電気



ポイント
①

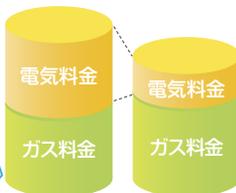
光熱費がおトク!

エネファーム導入による
光熱費削減イメージ

購入電力量が
約60%
ダウン!



※戸建住宅4人家族(150㎡、新築)
当社シミュレーションによる算出



従来システム エネファーム

ポイント
②

10年フルメンテナンスサポート!

お客さまにいつまでも快適にエネファームをお使いいただくために万全のアフターサービスをご用意しております。

定期点検

約5年毎に点検や消耗部品
を無償で交換いたします。



修理対応

万が一の故障発生時には
無償で修理対応いたします。

ポイント
③

停電時も電気が使えて安心!

停電時にも照明や給湯が使用でき安心です。(500Wまで)
また、テレビ等で情報収集も可能です。



照明 40W

(ダウンライト5個)



テレビ 152W



床暖房



シャワー

※大阪北部地震でもその有用性が実証されました。

※停電時専用コンセントが必要となります。

※停電時の発電には、ガスと水道水の供給が必要です。

※出典：(一財)省エネルギーセンター「省エネ性能カタログ(2010年夏版)」

ポイント
④

優れた環境性!

年間
約1,250kgの
CO₂を削減



約90本の
杉の木約90本の
植林に相当

※杉の木のCO₂吸収量原単位=13.9kg-CO₂/年・本
(林業白書平成9年より050年杉 直径26cm 樹高22m)

快適環境おしらせ機能付き

住宅用火災(煙式)・ガス・CO警報器

快適ウォッチ

が、スマート!

熱中症やインフルエンザなどの
ウイルス対策にも役立つ、
新たな警報器



住宅用火災(煙式)・ガス・CO警報器

快適ウォッチ

快適環境おしらせ機能付き

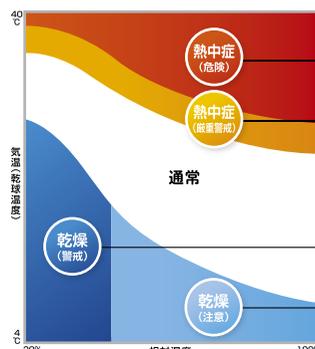
住宅用火災(煙式)・ガス・CO警報器

快適ウォッチ



火災・ガス・CO警報に加え、熱中症と乾燥をおしらせ!

■ 快適環境おしらせ範囲



※WBGT: 暑熱環境下におけるリスクの度合いを判断するために用いられる指標

夏は熱中症対策に

温度と湿度から「暑さ指数(WBGT)」※を算出し、
熱中症の危険がある状態をおしらせ



熱中症(危険)

危険

音聲

青ランプ点灯

ポーン 部屋がたいへん暑
くなっています。風通しを
よくし、水分が足りなくな
らなようにしましょう



熱中症(厳重警戒)

厳重警戒

青ランプ点灯

冬はインフルエンザなどの対策に

空気が乾燥したインフルエンザなどに
かかりやすい状態をおしらせ



乾燥(警戒)

警戒

音聲

青ランプ点灯

ポーン 部屋が乾燥しな
いよう心がけましょう



乾燥(注意)

注意

青ランプ点灯

Si センサーコンロ

全口センサー搭載

が、スマート!

「Siセンサーコンロ」は全口に安全センサーを
搭載。安心・安全機能いっぱいの頼れるSiセン
サーコンロは、ついいうっかりにもしっかりと
対応します。グリルでは焼き魚はもちろんお菓子
づくりまで、お料理がもっと楽しく、美味しく、
簡単につくれます。また、ビルトインコンロは
既設のコンロから簡単に取り替えられます。



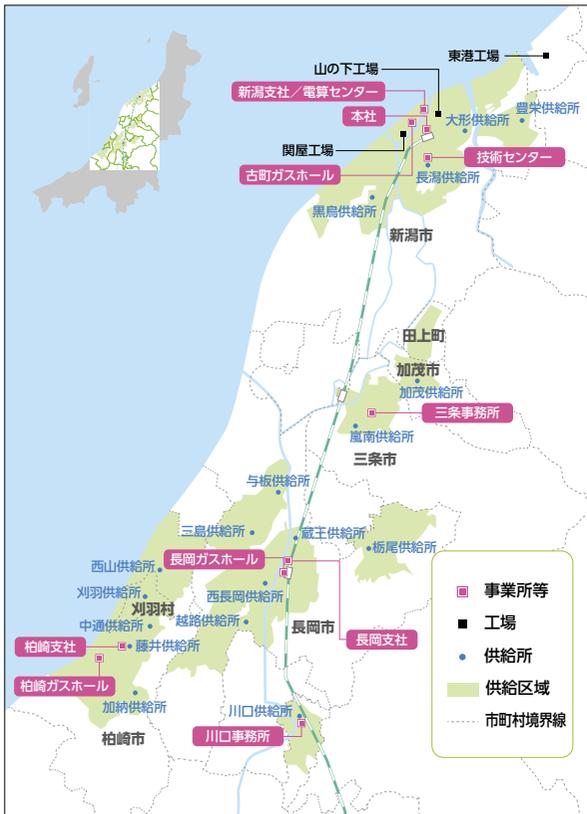
会社の概要 (2018年9月30日現在)

商号 北陸瓦斯株式会社
 設立 1913年6月2日
 資本金 24 億円
 主要な事業内容 1.都市ガスの製造、供給および販売
 2.ガス受注工事の施工
 3.ガス機器の販売
 ホームページ <http://www.hokurikugas.co.jp>

■事業所

本社 新潟市中央区東大通一丁目2番23号
 新潟支社 新潟市中央区附船町一丁目4401番地
 長岡支社 長岡市西神田町二丁目1番地2
 三条事務所 三条市北中1番8号
 柏崎支社 柏崎市大字藤井2098番地5

■事業所、工場等および供給区域



■取締役および監査役

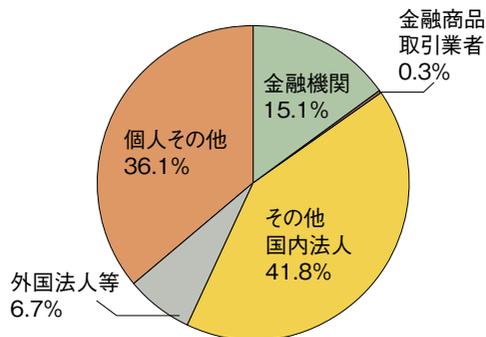
取締役会長	敦井 榮 一
取締役社長	敦井 一 友
常務取締役	平松 健 二
常務取締役	今井 康 晴
取締役	津野 徹
取締役	渡邊 義彦
取締役	高橋 嘉津夫
取締役	森 裕之
取締役	小林 宏一
取締役	並木 富士雄
取締役	鶴巻 克恕
常勤監査役	篠原 昭博
監査役	西潟 精一
監査役	能勢 正敏

株式の状況 (2018年9月30日現在)

株主の状況

発行可能株式総数 9,600 千株
 発行済株式の総数 4,800 千株
 株主数 2,473 名

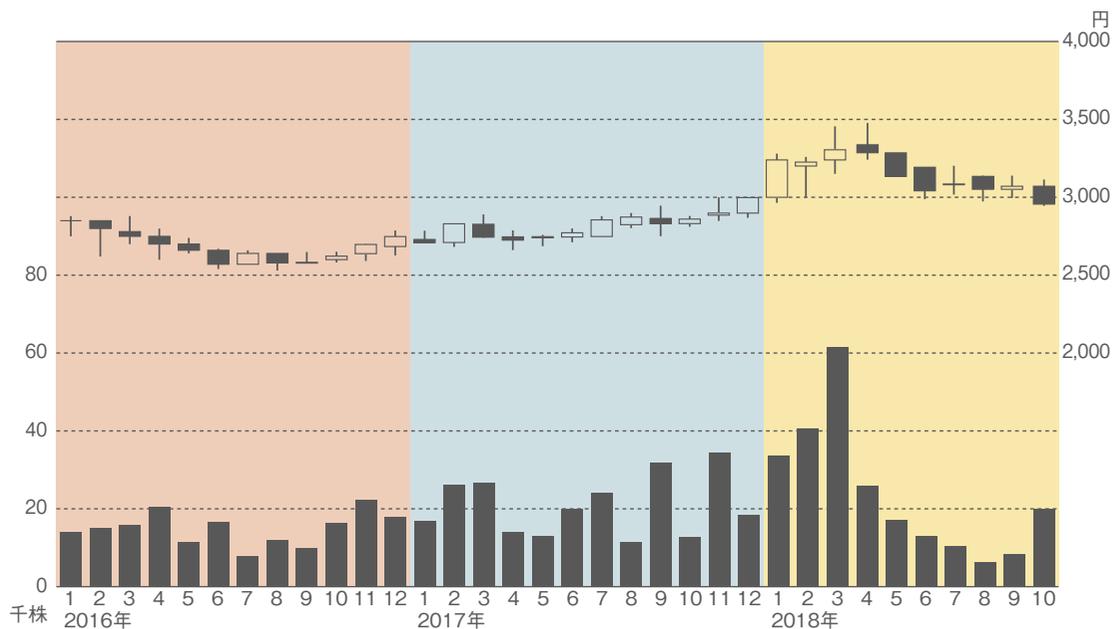
所有者別株式分布状況



大株主

株主名	所有株数 (千株)	持株比率 (%)
敦井産業株式会社	508	10.58
公益財団法人北陸瓦斯奨学会	347	7.24
新潟ヒューム管株式会社	261	5.45
公益財団法人敦井奨学会	225	4.70
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (管理信託口・79209)	160	3.34
ビービーエフフォーティファイブプライドストックファンド (フィンパルオールセクターサポートフォリオ)	152	3.18
株式会社第四銀行	137	2.85
三条信用金庫	118	2.46
公益財団法人敦井コレクション	106	2.21
敦井 一友	84	1.75

株価および出来高の推移



(注) 2016年9月28日付で東京証券取引所における当社株式の売買単位が変更されたことから、株価および出来高ともに期間をさかのぼって単位を調整しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	6月中	
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当	3月31日
	中間配当	9月30日
単元株式数	100株	
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社	

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ証券 本店、全国各支店および営業所
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご 注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

公告方法

当社のホームページ(<http://www.hokurikugas.co.jp>)に掲載します。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場金融商品取引所	東京証券取引所
証券コード	9537

北陸瓦斯株式会社

新潟市中央区東大通一丁目2番23号

TEL 025-245-2211

<http://www.hokurikugas.co.jp>



※この印刷物は、環境に配慮してFSC® 認証証及び適切に管理された森林から作られたFSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。



Facebook
北陸ガス公式ページ




北陸ガス フェイスブック 検索

<https://www.facebook.com/hokurikugas/>